



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東
 コード番号 2369 URL <http://www.medibic.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 門井 豊 (TEL) 03-3222-0132
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	142	9.0	△126	—	△130	—	△133	—
23年12月期第3四半期	130	△21.1	△166	—	△177	—	△154	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △130百万円(—%) 23年12月期第3四半期 △136百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△6.47	—
23年12月期第3四半期	△7.69	—

(注) 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	217	179	76.9
23年12月期	244	198	77.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 167百万円 23年12月期 188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220	10.3	△150	—	△150	—	△145	—	△7.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	21,599,720株	23年12月期	20,344,200株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	—株	23年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	20,690,633株	23年12月期3Q	20,093,174株

(注) 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) 重要な後発事象	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)における我が国経済は、設備投資や雇用情勢に持ち直しの動きがあるなか、円高、海外経済の減速、外交問題など不安定な状況のうちに推移いたしました。

又、当社グループを取り巻く環境としましては、臨床研究支援、遺伝子に関する行政通達、指針、ガイドライン策定など、国策として「個別化(テーラーメイド)医療」実現に向けた支援や制度整備が進められるなか、大学や研究機関、製薬企業による病気や薬剤、遺伝子との関係を解明する研究、バイオバンクの整備などの取り組みが活発化してまいりました。

このような状況のもと当社グループは、検体バンキング事業を中心にPGxサービスソリューション営業の強化に注力するとともに、薬剤と副作用のリスク判断を行う「おくすり体質検査」を軸に新たな遺伝子検査の技術開発、専門クリニック及び総合病院との業務提携を積極的に進めてまいりました。又、遺伝子解析技術を応用した新たな取り組みとしてアカデミックや海外企業などと共同開発研究を進める等、業容拡大のための施策を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績、セグメントの業績は、次のとおりであります。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	142,278	11,759 増
営業損失	△126,506	40,309 減
経常損失	△130,630	46,981 減
四半期純損失	△133,831	20,630 減

① バイオマーカー創薬支援事業

バイオマーカー創薬支援事業につきましては、PGx試験支援サービスの主体となる検体バンキングサービス、検体管理システム販売、RNA増幅試薬の販売及び臨床試験サポートを、国内外の製薬メーカー、アカデミック・研究機関に対して提供してまいりました。

特に検体バンキングサービスにおいては、国や製薬企業などがテーラーメイド医療研究を活発化させていることで、PGx試験への取り組みが試験の数、規模ともに増加する傾向が見られ、保管検体数は、およそ15,000検体前後で推移しております。

又、このような臨床試験の大規模化、高品質化に対応するため、グローバル対応可能でPGx試験用としては国内随一となる検体管理システム『SATS』及び匿名化システム『Anonymity』の新バージョンを開発・販売するほか、大手医薬品開発支援サービスのイーピーエス社と協業体制を構築するなど事業拡大の基盤づくりを行いました。

この結果、バイオマーカー創薬支援事業の売上高は88,477千円(前年同四半期比15.1%増)、セグメント利益(営業利益)は22,980千円(前年同四半期は1,000千円の利益)となりました。

② テーラーメイド健康管理支援事業

テーラーメイド健康管理支援事業につきましては、PGx試験支援サービスにおけるノウハウを活用した個人向け健康管理支援サービスとして、『おくすり体質検査』『CYP2D6遺伝子検査』をクリニック、調剤薬局などを通じて販売するほか、新たな遺伝子検査の技術開発、ヘルスケア製品の販売を行ってまいりました。

具体的には、ゲノム薬理学の臨床現場への浸透・発展を目指した神戸大学医学部附属病院との共同研究会発足、英国キングスカレッジロンドン大津欣也教授との「慢性心不全における運動耐容能低下の改善剤」に関するノウハウを活用した低分子化合物RSR13の薬剤有効性を推定する遺伝子検査の開発、BGI JAPAN社との日本国内における感染症分野における感染源の特定のための感染集団からの検体の収集及び匿名化などの共同研究開発(成果:HLA遺伝子検査開発)、感染予防と簡単測定、業務

効率の向上を重視した非接触型体温計「サーモファインダーPro」の販売など、業容拡大のための施策を講じてまいりました。

この結果、テーラーメイド健康管理支援事業の売上高は31,737千円(前年同四半期比380.0%増)、セグメント損失(営業損失)は24,446千円(前年同四半期は30,980千円の損失)となりました。

③ 創薬事業

創薬事業につきましては、米国Eleison Pharmaceuticals, Inc. (Eleison社)とともに抗がん剤Glufosfamide (グルフォスファミド)の共同開発に取り組んでおります。これまでEleison社は、平成23年5月、Pharm-OlamInternational Ltd.をCROに選定し、平成24年2月には、開発資金を調達するなど第Ⅲ相臨床試験開始に向けた準備を整え、本年後半には試験をスタートする予定としております。又、欧州では、平成23年4月にオーファンドラッグとしての認定を受け、EU圏における10年間の独占販売権が与えられるとともに、開発援助金を受けられるなど様々な優遇措置が講じられることとなり、EU圏での開発にも大きな期待が寄せられているところであります。

こうしたなか当社グループは、アジアの製薬企業を中心にライセンス交渉を進めてまいりました。

この結果、創薬事業の売上高は704千円(前年同四半期は創薬事業の売上高はありません。)、セグメント損失(営業損失)は2,550千円(前年同四半期は1,057千円の損失)となりました。

④ 投資・投資育成事業

投資・投資育成事業につきましては、保有する営業投資有価証券の売却を進めたことにより、非上場の外国株式2銘柄を売却いたしました。又、投資先の事業状況等の精査の結果、当第3四半期連結累計期間におきまして投資損失引当金繰入額11,420千円を計上いたしました。

これにより、投資・投資育成事業の売上高は21,359千円(前年同四半期比54.6%減)、セグメント損失(営業損失)は3,338千円(前年同四半期は22,438千円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は217,217千円となり、前連結会計年度末に比べ26,788千円減少いたしました。主な要因としては、現金及び預金の減少32,730千円、営業投資有価証券の減少8,459千円、投資損失引当金の増加9,141千円によるものであります。

負債は37,267千円であり、前連結会計年度末に比べ7,766千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少6,281千円、前受金の減少5,527千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19,022千円減少し、179,950千円となりました。これは新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ54,285千円増加したものの、四半期純損失133,831千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月10日付「平成23年12月期決算短信」において公表いたしました平成24年12月期通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間より、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当第3 四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純損失を算定しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第3 四半期連結累計期間におきましても営業損失126,506千円、経常損失130,630千円、四半期純損失133,831千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、「事業収益の拡大」及び「資産のキャッシュ化」を経営の柱として、引き続き安定した財務基盤の確立に努めるとともに、資金調達による財務体質の改善に取り組んでまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,027	29,297
受取手形及び売掛金	18,230	16,907
営業投資有価証券	143,568	135,108
投資損失引当金	△34,377	△43,519
商品及び製品	608	474
仕掛品	13,399	13,675
貯蔵品	—	1,809
その他	11,003	5,436
貸倒引当金	△7,114	△770
流動資産合計	207,345	158,419
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6,167	3,904
有形固定資産合計	6,167	3,904
無形固定資産		
販売権	—	22,222
その他	6,693	5,659
無形固定資産合計	6,693	27,881
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	11,696	9,037
敷金及び保証金	12,102	17,973
長期未収入金	—	4,810
破産更生債権等	10,000	—
貸倒引当金	△10,000	△4,810
投資その他の資産合計	23,799	27,010
固定資産合計	36,660	58,797
資産合計	244,006	217,217

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,667	208
未払費用	6,294	8,003
未払法人税等	10,408	4,126
前受金	19,787	14,260
その他	6,063	10,668
流動負債合計	44,221	37,267
固定負債		
受注損失引当金	811	—
固定負債合計	811	—
負債合計	45,033	37,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,357	2,230,642
資本剰余金	2,709,554	2,763,839
利益剰余金	△4,651,602	△4,785,433
株主資本合計	234,309	209,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,606	△41,973
その他の包括利益累計額合計	△45,606	△41,973
新株予約権	10,077	12,845
少数株主持分	191	29
純資産合計	198,972	179,950
負債純資産合計	244,006	217,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	130,518	142,278
売上原価	106,282	74,755
売上総利益	24,236	67,522
販売費及び一般管理費	191,052	194,028
営業損失(△)	△166,815	△126,506
営業外収益		
受取利息	193	20
投資損失引当金戻入額	—	2,278
受注損失引当金戻入額	—	811
貸倒引当金戻入額	1,709	1,533
その他	944	803
営業外収益合計	2,848	5,448
営業外費用		
支払手数料	5,369	7,257
為替差損	6,467	328
その他	1,807	1,986
営業外費用合計	13,644	9,572
経常損失(△)	△177,611	△130,630
特別利益		
固定資産売却益	—	14
投資損失引当金戻入額	13,224	—
新株予約権戻入益	38	—
投資有価証券売却益	9,276	—
受注損失引当金戻入額	451	—
過年度損益修正益	1,690	—
特別利益合計	24,682	14
特別損失		
固定資産廃棄損	—	95
特別損失合計	—	95
税金等調整前四半期純損失(△)	△152,929	△130,712
法人税、住民税及び事業税	1,533	3,120
法人税等合計	1,533	3,120
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154,463	△133,832
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純損失(△)	△154,462	△133,831

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154,463	△133,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,707	3,633
その他の包括利益合計	17,707	3,633
四半期包括利益	△136,755	△130,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,754	△130,198
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バイオマ ーカー創薬支 援事業	テーラーメ イド健康管 理支援事業	創薬事業	投資・投資 育成事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	76,870	6,611	—	47,036	130,518	—	130,518
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	76,870	6,611	—	47,036	130,518	—	130,518
セグメント利益又は損失 (△)	1,000	△30,980	△1,057	△22,438	△53,475	△113,340	△166,815

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△113,340千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バイオマ ーカー創薬支 援事業	テーラーメ イド健康管 理支援事業	創薬事業	投資・投資 育成事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,477	31,737	704	21,359	142,278	—	142,278
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	88,477	31,737	704	21,359	142,278	—	142,278
セグメント利益又は損失 (△)	22,980	△24,446	△2,550	△3,338	△7,355	△119,150	△126,506

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△119,150千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、新株予約権の一部行使による払い込みを、下記内容にて受けております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,230,642千円、資本剰余金が2,763,839千円となっております。

(単位：千円)

種類	権利行使者	権利行使日	資本金	資本剰余金
新株予約権	Evolution Master Fund LP	平成24年6月14日	10,151	10,151
	Evolution Master Fund LP	平成24年6月18日	10,151	10,151
	マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社	平成24年6月19日	12,947	12,947
	Global Opportunities Fund Ltd. SPC c/o Evolution Master Capital Management, LLC,	平成24年6月20日	5,075	5,075
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年8月14日	525	525
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年8月20日	660	660
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年8月23日	2,112	2,112
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年8月28日	3,135	3,135
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月5日	480	480
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月10日	442	442
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月14日	870	870
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月20日	590	590
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月25日	620	620
	NOMAD, Inc.	平成24年9月26日	5,075	5,075
	マッコーリ・バンク・リミテッド	平成24年9月27日	1,450	1,450
合計			54,285	54,285

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	
新株予約権の行使	<p>当第3四半期連結会計期間終了後、平成24年8月13日付発行の第5回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）について、一部権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は、以下のとおりであります。</p> <p>(1) 発行した株式の種類及び株式数 普通株式 1,050,000 株</p> <p>(2) 増加した資本金 33,702 千円</p> <p>(3) 増加した資本準備金 33,702 千円</p> <p>これにより、平成24年11月12日現在、資本金2,264,345千円、資本準備金2,797,542千円となりました。</p>